

ぜひお読みください。

神戸こども初期急病センター
トピックス Vol.5
平成22年6月22日
神戸市保健福祉局

医療関係者の皆様へ

神戸こども初期急病センタートピックスVol.5



持続可能な小児救急医療体制確立するため、初期救急、二次救急、三次救急の医療機関がそれぞれの機能を十分に発揮し、お互いに連携するために、神戸市では市内医療関係者のご協力を得て、神戸こども初期急病センターの整備を進めています。

神戸こども初期急病センタートピックスは、この急病センターの進捗状況などを、関係者の皆様へ随時お知らせしていきます。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平年より少し遅れて梅雨入りし、降る雨に紫陽花の花が美しく映える季節になりました。梅雨にもかかわらず、神戸こども初期急病センターの建設は、今のところ順調に進んでおり、12月の開設に向け、様々な作業が着々と進んでおります。今回は、4月に就任された神戸こども初期急病センター石田明人センター長のご挨拶と、センターの常勤職員の募集についてお知らせいたします。

1. 神戸こども初期急病センターのセンター長 石田明人先生より（ご挨拶）

神戸こども初期急病センター長 石田明人

4月19日より神戸こども初期急病センター長として、着任いたしました。12月のオープンに向けて現在、小児救急医療事業団の事務局及び看護グループが中心となり、大学、神戸市医師会、神戸市小児科医会、神戸市薬剤師会など関係者とともに鋭意準備を進めております。今回の事業は神戸市、神戸市医師会、神戸大学の3者の合意に基づき計画着工されたことが大きな特色と言えます。神戸市は神戸大学に対して寄附講座として「こども急性疾患部門」を設立し、この講座はこども初期急病センターと一体となり診療・研究にあたることになっております。また、神戸市医師会は施設運営のための医師確保にご協力いただくことになっており、神戸市薬剤師会、兵庫県看護協会にも設立について多大の協力をお願いしております。

小児の救急は各地で診療時間の短縮、診療日の制限など破綻の危機に瀕しております。小児科医不足に伴う過剰勤務、核家族化によるコンビニ受診の増加、モンスターペアレントの増加など理由は多々あると思います。このような医療環境で新たに設立される、神戸こども初期急病センターは地域医療の中で、安定的な運営が行われるように仕組みを考えていきたいと思っております。又、夜間休日の診療のみならず、救急現場からの子育て支援講座、電話相談など神戸の小児医療の中で大きな役割が果たせるように考えていきたいと思っておりますので、医師会の先生方のご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

裏へつづく

2. 神戸こども初期急病センター職員の募集について

センターの運営にあたっては、神戸市医師会、神戸市小児科医会、神戸大学、神戸市薬剤師会、兵庫県看護協会など市内の医療関係者からのご協力のほか、安定したセンターの運営を進めるため、今回、事業団として職員の募集を行います。

募集内容については、神戸市小児救急医療事業団 総務課まで

TEL：078-862-6075

ホームページ：<http://www.kobe-kodomoqa.jp/index.html>

3. 神戸市小児救急医療事業団のホームページが開設されました

神戸市小児救急医療事業団のホームページが開設されました。職員の公募や工事の進捗状況などを掲載していきますのでご覧ください。

4. 今後の予定

現在、医療関係者のみなさまからご教示などをいただいて選定した、診療システムや医療機器などについて協議をおこなっております。今後、建築などのハード面や職員の公募やトリアージのシステム導入などのソフト面を充実させながら、平成22年12月のセンターの開設を目指していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

神戸こども初期急病センター建設工事進捗状況

(平成22年6月17日撮影)

1階スラブ型枠・断熱材完了後の写真

